

二宮 淳 議員

(一問一答方式)



- ①SDGsの取組
- ②ワクチン接種
- ③公共建築物の管理等
- ④国道378号
- ⑤末永家住宅
- ⑥無縁遺骨の状況と対策

海洋ごみ対策について

問 海洋ごみの漂着によって様々な問題が生じ我々の人体にまで悪影響を及ぼす可能性が指摘されている。本市でも肱川から海へごみが流出しないよう発生抑制を行う必要があると思うが、どう取り組んでいるか。

答 本市では環境省の補助事業を活用し、令和3年度から海洋ごみの回収事業を実施し、漁業者の協力のもと長浜港をはじめ6つの漁港にごみ回収ボックスを設置して、漁労中に回収した海洋ごみの処分に取り組んでいます。

さらに、新規事業として海洋ごみ発生抑制対策事業の実施を予定し、市民参加型のボランティア清掃と啓発イベントを同時に実施することで海洋ごみに対する意識を高め、ごみを「捨てる」から「拾う」へ思考の転換を目指したいと考えています。

また、海洋ごみの発生抑制については、愛媛県民が一丸となって広域的に取り組む必要があることから、現在、県と市町の連携施策に係る提案書において、全市町一斉の清掃活動や啓発イベント開催を提案しているところです。

これまでも、ごみゼロ運動の実施はもとより、肱川流域会議「水中めがね」や肱川流域清流保全推進協議会において、河川美化活動等を実施してきましたが、今後は市内の様々な団体にも呼びかけて、より多くの皆様の積極的な参加によって、肱川の清流保全と瀬戸内海的环境美化を推進していきたいと考えています。

公共建築物の管理について

問 保健・福祉系施設等での利用料金は割高となっていないか。また、総合福祉センターは一旦予約すると何か月前でもキャンセル料が発生してしまうが、市民が利用しやすい料金などに見直しをすることはあるか。

答 貸館となっている多目的ホールや会議室等の利用金額については、市内の主な施設の会議室や県内の総合福祉センターなどの会議室の利用料金を参考に設定しています。

また、貸館の利用予約において、日程の変更については料金をいただくことはありませんが、キャンセルは市条例の規定により、利用日の10日前であれば利用料金の50%を、それ以降では100%の金額を納入いただいています。

本市としても、総合福祉センターは、市民の健康及び福祉の増進のための拠点施設として、より気軽に利用いただける施設でありたいと考えており、キャンセル料のほか利用時間の区分などについても、類似施設の状況なども踏まえ、見直しを検討したいと思います。

国道378号について

問 沖浦から須沢間は、急峻な山肌が道路に迫り、急カーブも多く常に落石や事故などの不安が付きまとう。原発事故等の避難道でもあることから、トンネル整備による利便性・安全性の向上について県に対し要望する考えはないか。

答 本市のほか伊予市、八幡浜市の3市で組織する国道378号整備促進協議会において、愛媛県に対し当該区間を含む沖浦から出海地区にかけての抜本的な防災対策の実施について要望を行っています。

提案のトンネル整備については、改良済み国道の2次改築に当たることや多額の事業費を要することから慎重に検討を行う必要があるため、愛媛県からは当面の事業化は困難とのことですが、当路線は原発事故等の有事の際、避難路としての役割を担うなど地域にとって欠かすことのできない重要路線であり、交通安全の確保はもとより、異常気象時の安全性の向上を図る必要があると考えています。